

ハイタッチ通信 11月号

E-mail : contact@high-touch.info

🌱 ハイタッチにやってくる子どもたちが大好きな歌です 😊

空気が澄んで山や街路樹の色が赤や黄に変わって、鮮やかになる秋になってきているはず?!ですが、秋らしさを満喫することも少なく、朝夕は特に肌寒さを感じる 11 月となりました。ちらほらインフルエンザで園や学校でも閉鎖の話が聞かれています。子どもたちはもちろん、ご家族の皆さんもどうぞ健康には十分気をつけてくださいね。

🌱 先月は、お出かけ遊びや、キネティックサンド（砂遊び）を楽しみました。

お出かけ遊びでは、動物園、虫探しなど、サーキットをお出かけに見立てて、イメージを友だちと共有しながら楽しみました。午前のクラスでは、ライオンさんの口に「どうぞ」と言いながら食べ物を入れたり、草むらの中に隠れている虫たちを見つけ嬉しそうに喜んだり…一方で午後のクラスでは、見つけて喜ぶだけではなく、時にはリアルに感じすぎて「触れない…」という友だちもいましたが、生き物に興味を持って図鑑で調べたりする姿も見られ、同じ活動でも少しずつ発展していく様子が伺えました。キネティックサンドは指先や手のひらでサラサラした砂の感触を楽しんだり、キラキラの石を宝石に見立て宝探しをしたり、ビー玉を装飾したケーキやプリンを作ったりして遊び込みました。以前は感触が苦手だったお子さんが満面の笑顔で触っている様子を見た保護者の方とお話をするなかで感じるのは、「比べるのは他のお子さんではなく、1 年前のわが子の姿」ということです。目には見えない賜物を様々な経験をしながらきっと一人ひとり抱いて大きくなっています。ハイタッチでも長〜い長〜い目で保護者の方々と一緒に見守っていきたいと思っています。

其々、通園されている幼稚園や保育園も運動会が終わったと聞いています。運動会当日に個々の子どもたちが頑張る様子をご覧になり感動したという報告を聞き、私たち職員もうれしくなりました。11 月は運動会をテーマにし、色々な場面をお伝えしていきます！

11月の療育① 運動会ごっこ 🏆 🏃 🎯

◎ねらい：

- ・友達や指導員と一緒にタイミングを合わせて身体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- ・遊びを通して、手と足、目と手など身体の複数の機能を同時に使う。
- ・日常であり使わない動き（押す、引っ張るなど）を経験する。
- ・達成感を味わう。

◎内容：週ごとにテーマとなる種目(かけっこ、綱引き、玉入れなど)に取り組みます。最後のお楽しみ、くす玉からは何が出てくるかな…？お楽しみに！

11月の療育② 紙遊び 🧑🧒

◎ねらい：

- ・紙を破るとき、指先の細かい動きや左右の手で違う動きをすること、力加減を調整したりして遊ぶことを経験する。
- ・紙がちぎれたりこすれたりする音を聞く、握った時の感触の変化を感じる、細かい紙が舞う様子を視覚で楽しむなど様々な感覚に働きかける。

◎内容：新聞紙、お花紙を使って、感触・造形・手指のコントロール・ルールのある遊びなどに取り組みます。

☆登園・帰園の準備をするためには、自分一人で身の回りのことができるスキルが備わっていることが大切です。スキルというのは①靴や靴下を自分で履く(脱ぐ)、②リュックから水筒を出す(入れる)、③収納ボックスを棚に持ち上げ収める等々、年齢に応じて自分で出来る様々なこと。しかし、スキルが身についたとしても、子ども自身が目的を達成しようとする気になってくれるかどうかポイント。部屋の中にある絵本や玩具、人の動きが気になったりすると気が逸れて、やるべき活動に向き合えなくなります。

☆ハイタッチに通う子どもたちの多くは、見通しを持って集中して準備に取り組むことが苦手。だからこそ課題以外のものに目を奪われることなく、パーテーションで空間を仕切り、スケジュールや絵カードで視覚支援をしながら自力で課題解決ができるように設定した学びのステーションです。パーテーションは簡易な工作物ですが、子どもたちの「自分でできた」の力を育みたい願いです。

10月30日 14時15分ごろ、ハイタッチ周辺で停電がおきました！

療育の真っ最中で、「おやつ」の時間の出来事です。いきなり真っ暗になった部屋の中で子どもたちも指導員も一瞬びっくりして動きが止まってしまいました。

回復に時間がかかり、停電中も療育はその場に応じて続けることができました。

暗がりを生かしてプラネタリウムを喜んで見つめてくれたり、窓際の明かりで仲良くキネティックサンドで輪になってケーキつくりやプリンつくりを楽しむ姿に心が和みました。突然の変更にも指導員の呼びかけに喜んで応じてくれる子どもたちの姿に指導員も安堵するとともにハイタッチでの週 1 回だけの出会いに育まれた暖かい出会いにジーンとしました。

保護者の方々には動揺もあったことだと思いますが、見守ってくださったおかげで無事に療育プログラムを終えることができました。

避難訓練は経験があるものの、停電という突発的な事象に対してこんなにも冷静に皆が対応出来たこと、また今回のことを踏まえてあらためて考えなければならないこと、非常事態への備えについて再度気を引き締めて日々の療育活動を行っていきたいと思ってやみません。

今後ともご支援ご協力を改めてよろしくお願いいたします。

